

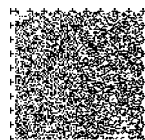
ユニバーサルデザイン社会の 実現を目指して



認めあい、支えあい、
おもてなしの心で
暮らすまち 高松



高松市



▶ ユニバーサルデザイン (UD) を知っていますか？

ユニバーサルデザインとは、Universal(普遍的な、すべての)と Design(企画、設計)という2つの英単語を合わせたもので、一般的に、年齢、性別、障がいの有無、国籍等、個人の特性や置かれた状況にかかわらず、最初から、できるだけ多くの人々が利用できるよう、製品や環境をデザインすることを言います。

今日では、まちづくりやものづくり、情報やサービスの提供、社会環境整備など、幅広い意味で使われています。



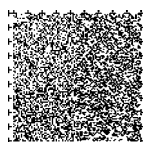
ユニバーサルデザインの提唱者
ロナルド・メイス 氏

▶ なぜ、ユニバーサルデザインが必要？

私たちは、もともと一人一人違いがあり、個性を持っています。

また、近年、少子・高齢化が進展しているほか、障がいのある人の社会進出の機会の増加や、国際交流の活発化による観光客や在住外国人の増加など、様々な立場や個性を持つ人が共に暮らす機会も増えています。

そのため、一人一人の多様性が尊重され、誰もが安心して快適に生活できるよう、ユニバーサルデザインを取り入れた社会づくりが求められています。



▶ ユニバーサルデザインの7つの原則って？

ユニバーサルデザインを理解する上で、基本となる考え方として、「ユニバーサルデザインの7原則」というものがあります。これは、ユニバーサルデザインの考え方を提唱したアメリカのロナルド・メイス氏を始めとするグループが取りまとめたものです。

この7原則は、既存のデザインの評価や、デザインする過程において、指針とするだけでなく、使いやすい製品や環境とはどうあるべきかを、デザイナーのみならず消費者を啓蒙するためにも活用できるものです。

① 公平性

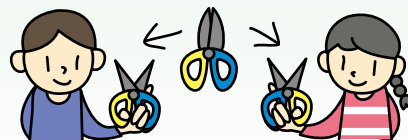
誰にでも公平に利用できること



誰でも乗り降りしやすい低床バス

② 柔軟性

使う上で自由度が高いこと



右利き、左利きを問わず使えるハサミ

③ 単純性

使い方が簡単ですぐ分かること



ボタンが大きくて
押しやすく、
暗闇でも見つけやすい
照明スイッチ

④ 分かりやすさ

必要な情報が
すぐに理解できること



何を表しているか、すぐ分かる図やマーク

⑤ 安全性

うっかりミスや危険に
つながらないこと



誤って引っかけて、
転倒しないように
作られたコード

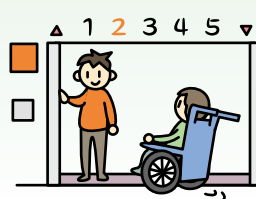
⑥ 負担の少なさ

無理な姿勢、
余計な力が
不必要なこと

力が弱い人でも
簡単に開閉できる
ハンドル式ドアノブ



⑦ スペース等の確保

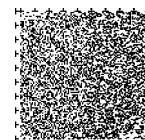


大きさや広さが
十分あること

車いすの人も
楽に乗り降りできる
エレベーター

この冊子についている  は何？

紙に掲載された情報をデジタルに変える「SPコード」です。専用のSPコード読取機で読み込むと、音声・点字・テキストなどに出力することができます。



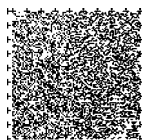
▶「バリアフリー」との違いってなに？

ユニバーサルデザインとよく似た考え方に、バリアフリーというものがあります。バリアフリーは、主に高齢者や障がいのある人を対象とし、日常生活や社会生活の中での様々な障壁(バリア)となるものを取り除いていこうという考え方です。

一方、ユニバーサルデザインは、特定の人だけを対象とするのではなく、すべての人を考慮に入れて計画・実施することにより、初めから障壁(バリア)を作らないようにするという考え方です。

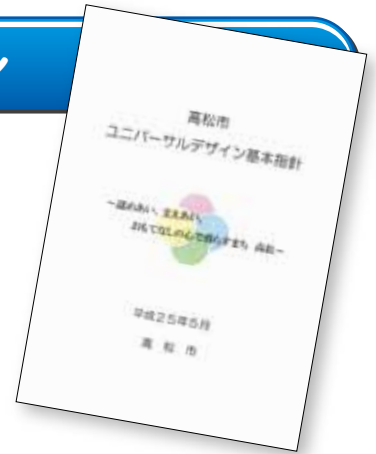
区 分	バリアフリー	ユニバーサルデザイン
考え方	後から障壁(バリア)を取り除く	初めから障壁(バリア)を作らない
対象者	高齢者や身体に障がいのある人など特定の人	年齢、性別、能力、国籍等にかかわらず、すべての人
例 示	 <p>いす式階段昇降機</p>  <p>左利き用はさみ</p>	 <p>エレベーター</p>  <p>利き手に関係なく利用できるはさみ</p>
取組の度合い	特定の人が不自由なく利用できるようになれば、取組が終わる	現状より少しでも利用しやすいものを目指して、見直しするなど、改善に絶えず取り組む

バリアフリー、ユニバーサルデザインとも、その目的は、快適で自由に行動できる社会を目指すものです。



▶ 高松市が進めるユニバーサルデザイン

高松市では、誰もが安心して快適に生活することのできる、ユニバーサルデザイン社会の実現を目指し、様々な主体が協働して取り組むことができるよう、その考え方や方向性について明らかにするため、平成25年5月に「高松市ユニバーサルデザイン基本指針」を策定しました。



基本理念

認めあい、支えあい、おもてなしの心で暮らすまち 高松

● 目指すべき姿

高松市には、四国八十八箇所霊場のお遍路さんへのお接待に代表される、訪れた人を気づかい、声をかけ、温かく迎える「おもてなし」の風習があります。

この「おもてなしの心」を取り入れた、高松らしいユニバーサルデザインに取り組むことにより、誰もが住みやすく、訪れやすい、心温まるまちを目指します。



ユニバーサル
デザイン



おもてなしの心

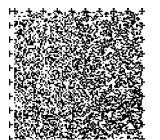
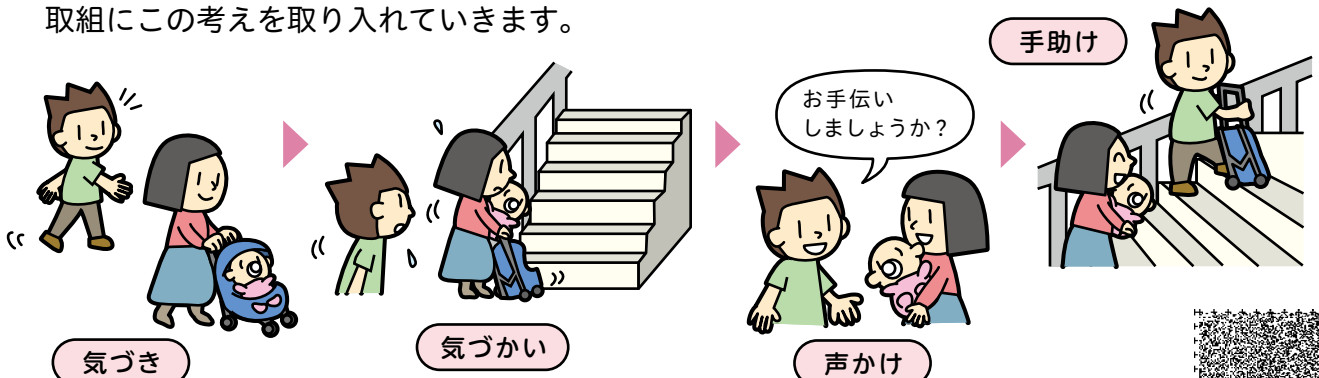


高松市の
ユニバーサル
デザイン

● 心のユニバーサルデザイン

施設や設備のハード面、制度や施策のソフト面ですべての人の希望や要望に対応することは、現実的ではありません。ユニバーサルデザイン社会を推進していくためには、施設や制度の充実だけでなく、相手の立場に立ち、思いやり、助け合うといった「心」での対応が重要となります。

このため、高松市では、おもてなしの心を持ち、様々な立場の人に「気づき」、そして「気づかい」、さらに温かい「声かけ」をし、相手が望む「手助け」をすることを「心のユニバーサルデザイン」と位置付け、ユニバーサルデザイン社会を推進するための原動力として、すべての取組にこの考えを取り入れていきます。



▶ 身近にあるユニバーサルデザイン

あなたの身の回りにもいろいろなユニバーサルデザインが存在しています。
人を思いやる心で、改めて身の回りのものを見直してみると、新たな発見があるはずです。
ちょっとした工夫で、みんなが使いやすくなるものがいっぱいあります。

パネル型スイッチ



少ない力で操作でき、
使い方が容易に
分かります。

シングルレバーの水栓



指先の力が弱くても、
滑ることなく使えます。

駅の点字触地図案内板

点字・色・凸凹などで
案内地図を表しており、
誰でも分かるように
作られています。

駅の改札口

改札口の一部が
広がっており、
車いす使用者を含む
様々な人が
使いやすいです。

だれにでも利用しやすい多機能トイレ

車いす使用者用便器や
おむつ交換台などを備え、
様々な利用者の用途に
対応できます。

感知式自動水栓

手を感知して一定時間
水が出るため、
蛇口をひねったり、
レバーを上下する
動作が要りません。

シャンプーボトルのギザギザ

触ることで
どのボトルが分かります。

テレビの字幕放送

音声を文字で
表示することで
音が聞こえない場合も
情報を得られます。

インターネット

家にいながらにして情報を入手でき、
音声で聞くこともできます。

大きな文字の新聞、雑誌

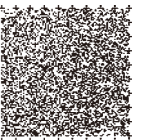
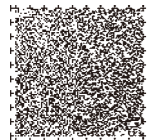
多くの人が読みやすい、
大きな文字で印刷されています。

段差のない入り口

段差がないので足や車輪などが
引っかからず、安全です。

階段とスロープのある登り口

自分で好きな方を選べます。

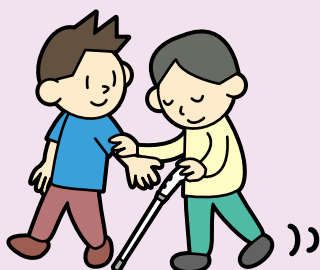


▶ みんなで取り組むユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザイン社会を実現するためには、行政だけではなく、市民の皆さんや事業者、市民活動団体など、地域社会全体での取組が必要であり、様々な団体が、それぞれの立場と役割を認識した上で協働することが重要です。

市民

ユニバーサルデザインの考え方を理解し、相手の立場に立ち、思いやり、助け合うことで、誰もが住みやすく、訪れやすい、心温まるまちを創ります。



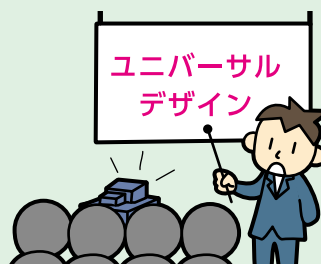
市民活動団体

行政や事業者等と連携・協力を図りながら、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた活動を行います。



誰もが利用しやすい
製品・サービスの提供を心がけます。

事業者



ユニバーサルデザインの普及啓発を行うとともに、実施するすべての施策にユニバーサルデザインの考え方を取り入れます。

高松市

発行

高松市市民政策局政策課 ユニバーサルデザイン推進室

〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号

電話：087-839-2141 F A X：087-839-2125

E-mail：seisaku@city.takamatsu.lg.jp

高松市のホームページに「高松市ユニバーサルデザイン基本指針」を掲載しています

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/19011.html>



この冊子は、宝くじの助成金で作成したものです。

発行：平成25年7月